

## 2020年度 産学公連携一覧

No.	件名	期間	連携機関	概要	学生関与人数	単位認定
-----	----	----	------	----	--------	------

### <美術工芸学科>

1	ARTCOM2020	2020.07	京都府精華町けいはんな記念公園	地域文化と芸術の社会還元を行うにあたり、京都府文化学研都市における水景園での野外彫刻展ARTCOM2018の展覧会を実施。広く科学技術研究都市の文化市場と芸術との推進を深め、あらたな展望を模索している1999年来から4芸大合同展覧会がスタートし、現在まで形態を変えながら、欠かさず毎年開催が続いている。今年度はコロナウイルスの影響で入場制限、接触距離を維持しての野外展示であったが、立体の持つ魅力を野外で鑑賞していただき、自然との共管をもとめることは一般の方には広く親しまれたイベントになった。	20	有
2	「ガレット デ ロワ」フェアプロジェクト	2020.9～2021.1	LIBERTÉ PÂTISSERIE BOULANGERIE (リベルテ・パティスリー・ブランジェリー)	LIBERTÉ PÂTISSERIE BOULANGERIEが1月に販売されるフランス菓子「ガレット デ ロワ」に添えられるフェープのデザインと制作を依頼。概要は、リベルテ京都に訪問し企業コンセプト調査、その後代表取締役やスタッフに向けて各々学生によるデザインのプレゼンテーションをzoomで実施、その中から実際に商品になるデザインを選定、そして選ばれた学生が中心となり実制作を行うというものである。	30	有

### <マンガ学科>

1	デジタル出版社連携作家排出拡大プロジェクト	2020.04～(継続中)	LINE Digital Frontier株式会社	【学生がプロのマンガ家になるチャンスを増やす】【大学、マンガ学科の認知度向上】を目的とし国内最大スマホ向けマンガ配信サービス「LINEマンガ」でのデビューに向けLINEマンガさんへの投稿拡大とLINEマンガのWEBサイト内に一定期間『京都芸術大学マンガ学科コーナ』特設サイトを作ってもらい、学生作品を発表するプロジェクトにより、本大学、学科の存在を知らない層に対して今後継続的に行っていくプロジェクト。	52	無
2	コミカライズプロジェクト	2020.04～(継続中)	株式会社TOボックス	マンガ学科内で現在まで作画は得意だけれども脚本が掛けないという学生はマンガ家としての道がかなり狭まってしまっていたので、今回小説→マンガ→アニメという道を作り売上を昨年対比2000%の勢いで伸ばしているTOボックスさんと連携し京都芸術大学マンガ学科からのデビュー枠として毎年3枠を確保しデビューに繋げるべく指導、投稿をおこなっており現在までに2名デビューした。	15	無
3	バーチャルタレント創出プロジェクト	2020.04～(継続中)	松竹芸能	UUUMと提携している松竹芸能としてyoutubeで活躍できるタレントをキャラクターを作ってタレント化。脚本制作・キャラクター制作・ショートアニメ制作をおこないまもなく公開予定だが、引き続きアニメーション制作を行う。	6	有
4	地域活性化プロジェクト	2020.04～(継続中)	一般社団法人 明和観光商社	明和町地域活性化のため「齋宮」をモチーフとしたストーリー作り。原作制作・キャラクター制作を現在までおこない、次年度でアニメーション制作をおこなう。	6	有

### <キャラクターデザイン学科>

1	日本学校歯科医会マスコットキャラクター制作	2020.01～(継続中)	日本学校歯科医会	日本学校歯科医会のマスコットキャラクターを学科内コンペとして受注。採用されたキャラクターの活用に関して継続案件となっている。	24	無
2	占いカードパッケージデザイン制作	2020.10～(継続中)	大興印刷	一昨年のJAPANEXPOで学生作品として販売したトレーディングカード制作で協力関係にあった大興印刷からの依頼。グラフィックゼミの学生によるデザインが採用された。	15	無
3	池田綾子ミュージックビデオ制作	2020.10～(継続中)	池田綾子	シンガーソングライター池田綾子氏の楽曲「明日への手紙」のミュージックビデオ制作をアニメーションゼミ2チーム・CGゼミチーム1チームによる3篇のMVを制作し2021年4月10日京都文化博物館でのコンサートで上映予定。	40	無
4	m@eミュージックビデオ制作	2020.01～(継続中)	ユニバーサルミュージック	昨年デビューした京都出身のシンガーソングライターm@e氏の楽曲「Blue」のミュージックビデオ制作を通して6ゼミ連携によるMV制作に留まらずに楽曲プロモーションまでを行うプロジェクト。2021年4月24日のオープンキャンパスにてMV公開並びに5月24日配信予定。	25	無
5	ゴジラレコードプロジェクト	2020.02～(継続中)	ユニバーサルミュージック	初開催となるゴジラと京都のコラボイベント「ゴジラVS京都」の1コンテンツとしてのゴジラレコードプロジェクトはプロジェクトのために作られた美術家の作品現物の世界最速展示、貴重な過去の「ゴジラのレコード・アート」の展示に伴い、学生が描いたゴジラ作品も展示するもの。2021年4月29日～5月5日に京都信用金庫旧河原町ビル「Question (クエスチョン) ビル」にて展示。	10	無

### <情報デザイン学科>

1	立川志の輔独演会2020グッズ制作	2020.07～2020.09	舞台芸術研究センター	立川志の輔独演会は春秋座で10年以上続く公演であり、グッズ制作は今年で3年目を迎える。今年度はコロナの影響でグッズ販売そのものが難しいとされている中、期間限定のネットショップの開設により実現できる見通し。毎年、志の輔さんご本人にも喜んでいただいている。	3	無
2	国際アニメーションデーin京都2020 (IAD in KYOTO 2020)	2020.11	国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-JAPAN)	芸術性に優れた世界の短編アニメーションの上映とレクチャーを学生および一般を対象にして実施する。	40	無
3	駅ナカアートプロジェクト	2020.03～2020.11	京都市交通局	駅通行客にむけ京都の特徴の一つ「銭湯」のイメージを通して、憩いと癒しを感じていただけるよう、のれん、銭湯壁画、洗い場のイミテーションなどを再現。洗い場壁鏡や風呂桶のギミックも創作。	6	無
4	ニフレル・プロジェクト	2020.08～2021.02	ニフレル	コロナ禍で来場者がニフレルに行くことができない日々。この状況下でニフレルとお客様を応援するプロジェクトを実施。会場に行かずともニフレルに触れ、楽しむことができる企画やプロモーションを展開した。全7チームが各々の企画に臨み、最終的には3チームが採用され、現在も展示とオンライン展開がなされている。	31	有

## <プロダクトデザイン学科>

1	PDプロジェクトII A/IVA	2020.09～2021.01	パナソニック株式会社 アプライアンス社 デザインセンター	産学連携（家電）：グローバル企業とのコラボレーションによる新商品開発提案・企業の第一線のプロと現場から学ぶ新コンセプトデザイン提案。 家電大手メーカーであるパナソニック社からHCD（ヒューマンセンターデザイン）について学び、前半では身近な家電製品をテーマにした課題解決提案が出来るようになることを目指す。後半では、その未来の生活を描くビジョン構築についての提案を具現化することが出来るようになることを目指す。	16	有
2	PDプロジェクトVA	2020.09～2021.02	ココヨ株式会社	コロナ禍で休む場所だったはずの家が、働く場に大きく変化しようとしている。これからの家の果たす役割は？そしてそこに必要とされる家具のデザインとは？そのことを大学の職員の現状を元にリサーチして、ココヨのデザイナーからアドバイスをもらいながら形にしていく授業。	14	有
3	PDプロジェクトIVB	2020.04～2020.12	株式会社良品計画 無印良品 京都山科	無印良品は、商いを通すことで、人々が喜び、美を伝播し、そして社会に貢献することができると考えている。無印良品 山科店では、日々の暮らしの中でも「食」にフォーカススーパーも運営しており、他の店舗とは一線を画す店作りとなっている。 今回、京都芸術大学プロダクトデザイン学科と産学協同で取り組んだテーマは、「くらしの道具 in MUJI YAMASHINA」とした。無印良品 山科店を中心とした地域性、時代性を含めた環境を丁寧にリサーチすることで、今までにはないくらしの道具を発見・デザインする課題となった。	14	有
4	PD総合IV B	2020.09～2021.02	有限会社中村ローソク	京都の老舗和蠟燭工房「中村ローソク」と、コラボレーションによる商品企画提案プロジェクト。 和蠟燭はハゼなどの植物由来の原料を使用しており、パラフィンを用いる一般の蠟燭にはない、揺らぎや暖かみがあるのが特徴である。 コロナ禍で打撃を受けている和蠟燭の需要喚起を目標として「灯りのある生活」をテーマにプロジェクトを行った。 工房で素材や製造の様子をリサーチし、アイデア検討、ゲストを呼んだ中間検討会などを行い、社長に対して最終プレゼンを行った。	21	有

## <空間演出デザイン学科>

1	CHIMASKI ジュエリーデザイン、販売	2020年度後期	株式会社CHIMASKI	CHIMASKIのジュエリーのエッセンスを取り込み、自身のフィルターを通過させプロダクトとして、アウトプットする演習。ものを仕上げるだけでなく、社会状況を考慮し他者が欲しくなる理由や値段、素材実験についても実践する。	26	有
2	糸および伝統文化の共同研究	2020年度後期	BURG (Burg Giebichenstein Kunsthochschule Halle University of Art and Design) HAWK (University of Applied Science and Arts Hildesheim) RCA (Royal College of Art)	ドイツの私立大学 Burg Giebichenstein University of Art and Design Halle から正式に依頼を受け、共同研究・制作に取り組んだ。研究内容は、「糸」。「糸」の研究を深めることにより、糸の新しい用途の可能性を探る。糸は、織物文化だけではなく、古代よりジュエリーなどの装飾品にも用いられてきた。本研究では、金箔、銀箔などの金属を形態変化させることによって用途を拡大させた金糸、銀糸を考案し、それをを用いた新たな作品・製品の制作を行う。京都をフィールドに教育・研究を進める本学と、異なる文化芸術の社会背景を有する欧州の視点を融合し、複層的な研究を行う。上記に加えて、糸や布とは関係の深い「結び」という行為が育む文化についても、研究・制作を行った。	14	有
3	地域交流としてのイベントデザイン	2020年度前期	亀岡市	亀岡市をフィールドにした、地域交流のためのイベント。オンライン上でリサーチを行い、Zoomにて企画プレゼンテーション会を実施した。亀岡市職員からのフィードバックを受け、亀岡市の魅力（オーガニック野菜・レシピカード・オンライン蕎麦打ちワークショップ・写真集・ビジュアル作品）を詰め合わせた「Kamehako」と名付けたパッケージを企画制作し、オンライン販売を行なった。	18	有
4	京都ブランド「SOU・SOU」コラボレーションプロジェクト	2020.04	若林株式会社	SOU・SOUの名前を冠して空デブランドを立ち上げ、弥生時代に生まれた貫頭衣をベースに三重県の伝統工芸品である伊勢木綿を使用した服の企画・デザイン・制作を行い、WEB SHOPで販売・接客までを行う。企画から販売までのプロセスを学ぶ。	12	有

## <環境デザイン学科>

1	門司港アートワーク	2020.09～11	門司港美術工芸研究所	「門司港アートワーク」は、「東アジア文化都市2020北九州」の一環として行われた、北九州市門司港地区を舞台に繰り広げるアート展覧会。 このイベントに、門司港美術工芸研究所が企画した大学連携アートとして、北九州市立大学、西日本工業大学、大分県立芸術短期大学とあわせ、4大学にて屋外アートを設置。 京都芸術大学からは「みどりのあしあと」という、取り壊し予定である建築の最期を花・みどりで修景することにより、その痕跡を再確認してもらうとともに、我々の営みが未来のまちづくりにつながることを願い、市民のみなさまと協働で制作。	4	無
---	-----------	------------	------------	--	---	---

## <映画学科>

1	北白川派映画製作『嵐電』（鈴木卓爾組）	2017.10～2020.03	※有限会社オムロと映画学科の共同製作	映画学科の「北白川派プロジェクト」第6弾。監督を学科教員で映画監督の鈴木卓爾が担当。京都の嵐山電車を舞台に、不思議な妖怪電車の都市伝説を絡めながら、男と女、人の出会いと別れを描く。撮影には京福電鉄、東映京都撮影所他、地元京都に愛され親しまれる関係各社が全面協力し、映画学科の学生が教員と共にスタッフ・キャストを担った。主演は、第一線で活躍する俳優・井浦新氏を迎え。卒業後も活躍中の俳優・大西礼芳が凱旋出演を果たした。	25	無
2	北白川派映画製作『のさりの島』（山本起也組）	2018.04～ (継続中)	※株式会社北白川派が製作 ※京都芸術大学、京都芸術大学映画学科が製作協力 ※熊本県天草市、熊本県が製作助成	2017年、休止中であった映画学科の「北白川派プロジェクト」が待望の再スタート。その第二弾として『カミハテ商店』監督の山本起也が、未だ後を絶たない「オレオレ詐欺」をモチーフに、「誰もが、何かを信じたい」という人間の「希望」を描く。本映画の製作は、全編ロケを天草で行うのみならず、少子化・高齢化にともなう様々な課題を抱える地方都市の課題を解決することに少しでも映画製作が寄与できればと、天草の魅力をまとめた映像資料の製作やガイドブックなどの製作も同時に行っている。 2021年5月全国公開予定。	20	有
3	北白川派映画製作『CHAIN』（福岡芳穂組）	2019.04～ (継続中)	※株式会社北白川派が製作 ※京都造形芸術大学、京都造形芸術大学映画学科、株式会社ゲーグピクチャーズ、東映株式会社京都撮影所が製作協力	2017年に再開した「北白川派プロジェクト」の三作目。『正しく生きる』などの監督福岡芳穂が、椎井友紀子プロデューサーのもと、京都の大学でなければ成立しなかった東映京都撮影所の全面協力を得て、北白川派初の時代劇に挑む。混沌とした幕末の京都で時代の激しい変化に翻弄される若者たちの姿を、いま我々が生きる時代と照応させ、新機軸の時代劇として描く。映画学科俳優コース卒業後プロとして映画、テレビ、舞台で現在活躍中の上川周作、土居志央梨、辻凪子が出演。 2021年全国公開予定。	90	有

## <舞台芸術学科>

1	IxR 配信ライブ舞台装置の製作	2020.08	株式会社STARTNET 株式会社ワールドふれんど	AKB48のユニットIxRの配信型コンサートの装置を製作。	5	無
2	ABCテレビ「ミヤコが京都にやって来た！」出演	2020.11	Kファクトリー	ABCテレビ、Kファクトリー製作のドラマ「ミヤコが京都にやって来た！」の葵役に舞台芸術学科演技・演出コース生9名がオーディションを受け、1名（鎌田茜）が合格、同ドラマに出演した。ドラマは2021年1月にオンエアされた。	9	無
3	NHK FM「京の朗読会」～あなたに寄り添う心癒す語りのひとときを～（公開ラジオ番組）	2021.01	NHK京都	NHK京都が製作するラジオ番組（公開録画）「京の朗読会」in～あなたに寄り添う心癒す語りのひとときを～に学生が出演。瀬尾まいこ作の小説「あと少し、もう少し」の抜粋を朗読。	2	無
4	京都芸術大学通信教育部CM映像ナレーション担当	2021.01	京都芸術大学 通信教育部	通信教育部のCM映像のナレーションを舞台芸術学科の学生が担当。	1	無
5	京都芸術大学付属高等学校CM映像 出演	2021.03	京都芸術大学付属高等学校	付属高等学校のCM映像に舞台芸術学科の学生が出演。	5	無
6	伊藤キムソロダンス作品「病める舞姫」公演スタッフ	2021.03	京都芸術大学舞台芸術研究センター	京都芸術大学舞台芸術研究センター主催「病める舞姫」の舞台監督助手として公演準備、公演進行を学生が担当。	11	無

## <文芸表現学科>

表現学科は0件

## <アートプロデュース学科>

1	市民会館クロージングイベント企画実施支援業務	2021.03	鉱石財団法人高槻市文化振興事業団	高槻現代劇場を運営する（公財）高槻市文化振興事業団と、契約を結び、イベント企画・当日の運営を行う。 実施日：2021/3/18【主催】高槻市、高槻市文化振興事業団 2020年度はクロージングイベント開催に向けた、トークイベントをコーディネート。学科の教員とアーティストが登壇し、今後展開していくクロージングイベント企画のための、レクチャーを行った。2021年度～2023年にかけて、4年間の活動を見据えた企画である。劇場の再オープンに向け、市民参加型のプロジェクト企画、それに伴う調査業務について継続的にかかわっていく予定である。	10	無
---	------------------------	---------	------------------	---	----	---

## <こども芸術学科>

1	高槻市立 芥川公民館	2020.12	高槻市立 芥川公民館	高槻市立芥川公民館の主催による、こども祭りに参加した。広くこどもたちや保護者の方が楽しめる企画を行いたいという館長からの依頼であった。人形劇と絵具遊びのワークショップを約50名のこどもたちとその保護者を対象に行った。	9	無
2	京都市立上賀茂幼稚園	2020.10～2020.03	京都市立上賀茂幼稚園	上賀茂幼稚園の園児たちにハンビロコウという鳥類について、親しみと興味を持ってもらうためのオブジェを制作した。生息地の減少など、人間と動物の関係、自然環境への興味関心を引き出したいという園長、教職員の思いから依頼があった。学科サークルのアンファズーの学生が中心となって制作した。	9	無
3	京都新聞社 京都新聞ジュニアタイムズ	2020.04～2021.03	京都新聞社	京都新聞ジュニアタイムズ（2019年5月創刊 / 毎週日曜日発行 / 16ページ）の第8面「こがくのがさん こうさく道場」の制作。5月～3月の全11回（月1回 / 第3週の発行版）を作成した。紙面の内容は、家庭で子どもが作ってみたいくなる工作、実際に作れる工作の紹介。紙面の内容は保育内容V表現1の授業内の課題として、学生が共同で制作した。	40	無
4	プレイシアター「あそびのコーナー」	2020.01～2021.03 (中断含む)	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 (ルームシアター京都)	ルームシアター京都と京都府内の文化会館が主催する「プレイ！シアター in Spring 2021」（こどもを対象とした演劇プログラム）において、こども芸術学科の学生が、観覧前の親子が待ち時間を過ごす「あそびのコーナー」の企画運営を担当する。実施は3月24日と25日で各日の公演は二回あり、学生は計4回のワークショップを実施する。お花見をテーマとし、お弁当型の玩具を制作し会場構成もおこなう。	11	無
5	曆彩館親子ワークショップ	2020.103	京都府立京都学・歴彩館指定管理者 「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」	曆彩館の特色を生かし「朗読」をテーマとしたワークショップ企画の依頼があり、親子で絵を読みとくあそびを提案した。こども芸術学科の学生は、3月27日に実施するワークショップ（計2回）の事前準備とその運営（制作補助と記録）を担当する。	4	無

## <歴史遺産学科>

1	和中庵庭園の調査と保存活用	2020.04～2021.03	京都ノートルダム学院中学高等学校	京都ノートルダム女学院中学・高等学校より、敷地内の近代住宅「和中庵」の保存・活用について協力依頼があった。そこで、歴史遺産学科の演習授業の一部として、2018年度より和中庵庭園の考古学的実習を行っている。	49	有
2	旧修学院荘庭園の保全	2020.04～2021.03	京都市	京都市風致保全課より、歴史的風土特別保存地区内にある和風邸宅「旧修学院荘」の庭園保全について協力依頼があった。そこで管理協定を締結し、歴史遺産学科の演習授業の一部として、庭園の考古学的実習を行っている。	47	有
3	奈良県立民俗博物館所蔵資料の調査と保存修復	2020.04～2021.03	奈良県立民俗博物館	奈良県立民俗博物館から所蔵資料の調査と保存修理について協力依頼があった。そこで同館との協定を締結し、歴史遺産学科の演習授業の一部として今年度は、12点の保存修理を行った。成果は本学の学生作品展で展示を行うとともに県立博物館においても「修復成果展」として展示された。	21	有

<アート・コミュニケーション研究センター>

1	第21期ダイハツ夢創塾	2020.08	株式会社日本マンパワー	株式会社日本マンパワーとのパートナー提携案件。ダイハツ労働組合の組合員を対象に実施されているリーダー育成研修合宿において「リーダーシップ発揮に向けた具体的な方法を明らかにする」ことを目的に、レクチャーやACOPを用いた対話型鑑賞を行った。なお、5月・6月は新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止となったため、8月のみの実施となった。	0	無
2	社内公募型研修 対話型鑑賞ゼミ「@（アット）」	2020.11～2020.12	パーソルホールディングス株式会社	パーソルホールディングス株式会社主催の社内公募型研修「@（アット）」は、「遊ぶように学ぶ」をコンセプトにNPO法人や社外企業と連携し、課題解決ワークショップやアート鑑賞、演劇など社員研修としては珍しい手法を取り入れながら、変化に合わせて自律的に挑戦する社員の育成を目指している。4年目の受託となる今回はオンラインでの実施となり、レクチャーやワークショップ、ACOPでの対話型鑑賞を行った。	0	無
3	「第3回コーポレート・アート・コレクション なにわの企業が集めた絵画の物語」展 教育普及プログラム	2021.01	一般社団法人関西経済同友会	一般社団法人関西経済同友会主催の展覧会「なにわの企業が集めた絵画の物語」展における教育普及プログラムとして、小学校4年生から中学1年生約200名を対象にACOPでの対話型鑑賞を実施した。本件は2018年度より受託しており、3年間で約1,500名もの小・中学生がプログラムに参加している。また、毎年アート・プロデュース学科の学生と連携しており、プログラムの企画から実施までを一任している。	3	無
4	「Open Storage2020-2021」展 対話型鑑賞プログラム	2021.03	一般財団法人おおさか創造千島財団	一般財団法人おおさか創造千島財団主催の展覧会「Open Storage 2020-2021」展における対話型鑑賞プログラムとして、小学生から大人までを広く対象としたACOPを用いたワークショップの企画・開発から実施までを行った。今年度は本センター受託プロジェクトとしては初めて、アートプロデュース学科以外の学生も参加した。	4	無

アート・コミュニケーション研究センター主催事業

1	主催セミナー「大学生と学ぶ対話型鑑賞 ファシリテーション」STEP1	2020.08～2020.12	-	全国の美術館や学校教育はもちろん、ビジネスパーソンのトレーニングへの活用など対話型鑑賞が広く普及し始めた一方で、実施者であるファシリテーターの技術を学べる場や機会の少なさという課題に対し、レクチャーと実践を交えたセミナーをオンラインにて開講。対話型鑑賞の基礎的な考え方や技術を習得するためのレクチャーやワークショップなど初心者向けのプログラムから、既に実践経験者へのオンラインでのファシリテーション実践など多様な層へのプログラムをACOPを学んだ学生とともに協同で開発、実施した。	12	有
2	主催セミナー「大学生と学ぶ対話型鑑賞 ファシリテーション」STEP2	2020.01～2020.02	-	「大学生と学ぶ対話型鑑賞ファシリテーションSTEP1」の参加者を対象に、より学びを深めるための上級編講座としてオンラインにて開講。ファシリテーターの技術を学べる場や研鑽していく機会の少なさという課題に対して、継続的に実践が出来る場を設け、ACOPを学んだ学生とともに参加者の方へのファシリテーションの実践指導を実施した。また、これまでの講座では扱ってこなかった内容なども、レクチャーやワークショップを通し上級編として実施。対話型鑑賞が普及する中でより質を高めていくための試みともなった。	12	有

アート・コミュニケーション研究センター協賛事業

1	獨協医科大学 講演会	2020.09	獨協医科大学	獨協医科大学主催のもと「患者主体での医療行為やコミュニケーションを指導する」ことをテーマに、全国の医学生・研修医の指導医を対象に講演会を実施する予定とされていた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止となったが、7月に本件担当者である獨協医科大学教授の森永康平氏、福、伊達が医学書院仲介のもと、オンラインにて鼎談を実施した。	0	無
---	------------	---------	--------	---	---	---

<日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園研究部門>

1	宇治川太閤堤跡 石出し遺構再現整備及び工事監理業務委託	2020.02～2020.09	宇治市	史跡宇治川太閤堤跡は京都盆地東部に流れる宇治川の右岸に16世紀に豊臣秀吉によって築造された護岸と水制工である。平成19年度以降の発掘調査によって得られた史跡宇治川太閤堤跡の護岸遺構情報に基づき、令和2年度は保護した遺構の同位置上部に護岸遺構の一部の再現整備を行うとともに、工事の監理業務一式を委託された。	0	無
2	会津松平氏庭園護岸修復報告書作成業務委託	2020.05～2021.03	会津若松市	福島県会津若松市に所在する名勝会津松平氏庭園御薬園における修復整備事業も残すところあと僅かとなったことから整備報告書の刊行を目指す。令和2年度は名勝会津松平氏庭園の池護岸整備にかかわる発掘調査と修復工事の成果に基づき、報告書案を作成する。	0	無
3	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	2020.05～2021.03	彦根市教育委員会	滋賀県彦根市に所在する彦根城博物館（表御殿）の庭園は発掘調査と古絵図を基に復元した庭園があり、彦根を代表する大名庭園である。この庭園の修景と適切な維持管理を図るため、主要樹木の剪定等および博物館作業員への技術指導を行うことを委託された。	0	無
4	R2名勝玄宮楽々園植栽整備委託業務	2020.05～2021.03	彦根市	彦根城下屋敷の名勝玄宮楽々園を構成する主要因である植栽のうち、特にマツを対象とした修復を行う。名勝玄宮楽々園にとって『特別管理樹木』であるマツは、将来の復元整備に向けた専門技術を用いた適切な維持管理が必要である。名勝庭園の保存整備に精通した専門機関として本センターが適切な樹木整備を行い、本来の姿に復元することを目的とする。	0	無
5	R2名勝庭園アドバイザー委託業務	2020.05～2021.03	彦根市	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城の下屋敷である名勝玄宮楽々園において、文化財庭園として適切な維持管理が行われるよう、本学から名勝庭園植栽整備の専門技術者を庭園管理アドバイザーとして派遣し、作業員への専門的な技術指導等を行う。	0	無
6	名勝柴田氏庭園植栽整備指導業務	2020.07～2021.03	敦賀市	福井県敦賀市に所在する豪農の屋敷であった柴田家の名勝柴田氏庭園において、名勝庭園本来の姿・魅力を取り戻すための整備を行なうにあたり、必要な設計等を行うとともに、専門的見地からの指導及び助言を行い、保全整備委員会の運営を支援することを委託された。	0	無
7	史跡及び名勝平等院庭園州浜管理	2020.05	宗教法人平等院	昨年度2019年に庭園修復を行った平等院庭園に対し、整備後の維持管理の技術指導並びに支援を行う。主に洲浜の草抜き、玉石敷き均し作業を行い、名勝としての景観を維持する。	0	無
8	R2名勝玄宮楽々園保存活用計画策定委託業務	2020.06～2021.03	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園は国の名勝及び史跡の指定を受けている。本業務では、この名勝玄宮楽々園の遺構や景観の適切な保存と活用方法を示し、後世に伝えていくための基本的な計画である「名勝玄宮楽々園保存活用計画原案」を策定することを目的とする。	0	無
9	泰勝寺跡仰松軒保存修理設計業務委託(庭園)	2020.07～2020.08	一般財団法人京都伝統建築技術協会	熊本県熊本市に所在する細川藩の菩提寺である泰勝寺跡敷地内には茶室仰松軒と庭園が築造されている。茶室ならびに庭園は各部に経年的な損傷が目立つようになってきた状況から、建物と庭園の損傷調査を実施する。センターは庭園の整備実施設計を委託された。	0	無
10	令和2年度 宇治市名勝総合調査「宇治の名勝地」（宇治山等）現状基本調査研究委託業務	2020.07～2021.03	宇治市	宇治市内において名勝候補を絞るため、平成28年～令和元年度名勝総合調査を受けて現状を把握した名勝地の分析と整理、収集した文献史料をはじめとする各種資料や作成測量図、撮影写真等の整理取り纏め、上記取り纏めにあたって必要が生じた際の個別名勝地現地の補足調査、上記内容の取り纏めと報告書作成に向けての準備を委託された。	0	無
11	旧安川邸庭園実施設計に伴う指導等委託業務	2020.07～2021.03	株式会社セプト設計コンサルタント	北九州市に所在する安川電機の創設者の屋敷であった安川家の旧安川邸の建物周辺に展開する庭園の復元的整備、改修整備等に係る助言指導を行うことを委託された。主に庭園整備における実施設計に係る助言指導を行う。	0	無
12	令和2年度京都御苑拾翠亭保存修復・機能強化工事設計業務のうち庭園設計委託業務	2020.07～2021.01	一般社団法人京都伝統建築技術協会	京都御苑内の九條池遺構拾翠亭等について、前回の修理から20年余りが経過したことから、建造物ならびに庭園の保存修復を行うとともに、公家文化の伝承・体験施設としての機能を強化するための基本・実施設計を行うものである。令和2年度は庭園に係る部分の保存修復設計と敷地内の魅力向上のための計画案策定を依頼された。	0	無
13	令和2年度日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽等景観創出業務に係る修景管理技術指導	2020.11～2021.03	阪神造園建設業協同組合	阪神造園建設業協同組合が大阪府より受注した「日本万国博覧会記念公園 日本庭園植栽等景観創出業務」に基づき、日本庭園・歴史遺産研究センターは日本万国博覧会記念公園日本庭園において計2回の修景管理技術を指導する。	0	無
14	令和2年度日本万国博覧会記念公園日本庭園における刈マツ剪定指導	2020.11～2021.03	阪神造園建設業協同組合	阪神造園建設業協同組合が大阪府より受注した「日本万国博覧会記念公園 日本庭園植栽等景観創出業務」に基づき、日本庭園・歴史遺産研究センターは日本万国博覧会記念公園日本庭園の黒松の剪定指導を公開講座形式で実施する。	0	無
15	史跡および名勝平等院庭園管理指導	2020.10～2021.01	宗教法人平等院	史跡及び名勝平等院庭園の見所である鳳凰堂周辺の洲浜敷き均し作業を中心に、庭園景観を整える作業を依頼された。また、史跡や名勝庭園管理における心構え、技術指導等を常設作業員へ行い、文化財の保全に寄与する。	0	無
16	R2玄宮園護岸保存整備工事工事監理委託業務	2020.12～2021.03	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園において実施されている護岸保存整備工事において、第5-2工区の工事監理を依頼された。主に石組護岸、木杭護岸、川砂利敷き均し等の保存整備に対し、埋蔵文化財の発掘調査成果と文献史料等の検証により、工事指導を行う。	0	無
17	令和2年度空中茶室閑雲軒再建プロジェクト	2021.02～2021.03	国立大学法人京都大学 こころの未来研究センター	石清水八幡宮の空中茶室・瀧本坊閑雲軒の再建という目標に向かって、令和2年度は主に史資料調査を実施し、再建に向けての基礎資料とする。本プロジェクトは復元的整備の観点から、古図、埋蔵文化財調査の成果、地形図等を頼りに閑雲軒の骨格、構造、素材、意匠等の検証を行う。	0	無

<日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門>

1	「学校収蔵民具の再発見事業」普及啓発事業	2020.04～2021.03	学校収蔵民具の再発見事業実行委員会	過去3年間携わってきた、京都市内の各区で行われたパネル展示「学校民具の収蔵展」。今年度はそのまともとも言える「学校収蔵民具の再発見事業」パンフレットを作成するにあたり、主に編集・校正作業の一部を請け負う。	0	無
2	真田山旧陸軍墓地の墓石に関する調査および強化処理	2020.04～2021.03	公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会	真田山旧陸軍墓地における墓石の劣化状態調査結果に基づく墓石のクリーニング、および樹脂注入による強化処理を行った。 2021年度は68基の処理を完了させた。	0	無
3	生身天満宮	2020.10～2021.03	生身天満宮	生身天満宮が所蔵する神楽殿板絵壁画の保存処置 1. 絵具層の剥落止め 2. 必要に応じて苔、地衣類の除去作業およびクリーニング漂白作業	4	無
4	NPO法人 文化財保存支援機構 会計委託	2020.04～2021.03	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構の関西支部における金銭出納、帳簿記載事務	0	無
5	香里ヌヴェール学院中学校・高等学校所蔵 聖ベルナデッタ像のクリーニング	2020.02～2021.03	学校法人 聖母女学院 香里ヌヴェール学院中学校・高等学校	香里ヌヴェール学院中学校・高等学校所蔵 聖ベルナデッタ像のクリーニング施工。適切な清浄方法選択の為、予め像の周辺に落ちていた破片を採取し成分分析を行う。劣化や破損状況等と併せて検討し、必要に応じたクリーニング作業を行う。	0	無
6	タカラベルmont株式会社 年表台帳データの作成	2020.02～2021.03	タカラベルmont株式会社	真田山旧陸軍墓地の維持保存活動において、長年協力関係にある真田山陸軍墓地維持会。その事務局を運営しているタカラベルmont株式会社が創立100周年を迎えるにあたり、社史制作用の年表台帳データを作成する。	0	無
7	歴史遺産学科所蔵掛軸の修理処置	2021.02～2021.03	京都芸術大学 歴史遺産学科（通信）	通信教育学部 歴史遺産学科所蔵の掛軸修理処置作業	4	無

<創造学習センター/芸術教養センター>

創造学習センター（プロジェクト演習科目）受託

1	テクロス講座	2020.6～2020.11	株式会社テクロス	テクロスのディレクターたちによるUI/UX講座とイラストレーター養成講座を開催。UI/UX、イラストレーターともに、常にディレクター2名が与えられた課題にどう取り組むか、そして、どうアウトプットが必要か、学生の作品に対してどう改善していけばいいか、を続ける形になった。	29	無
2	さとゆめ	2020.05～2021.01	株式会社さとゆめ	前期はコロナ禍の影響を受け、フィールドワークができないことからオンラインでの学びを中心に進めた。オンラインによるワークショップ、ヴァーチャルフィールドワークなどにより、「地方創生」の考え方を学んできた。後期は、冊子を作るという視点から、実際にフィールドに入り、さとゆめの取り組みと地方の取り組みを整理しつつ、どう発信するかを考えてきた。フィールドによりまだいけないエリアがあり、書籍としては完成していない（前期に持ち越し）が、次年度継続が多いことから学びの多いプロジェクトであった。	74	有
3	パナソニックプロジェクト	2021.01～2021.03	パナソニック株式会社コネクティッドソリューションズ社 イノベーションセンター	パナソニックのBtoBの新製品ランタナーのPRプロジェクト キャラDの学生を中心に、3本の動画を作成し、グランフロント大阪において、PRイベントを行う予定（2021年4月） パナソニックチームからの評価も高く、次年度継続も審議中	0	無
4	クオインタムプロジェクト	2020.11～2022.03	株式会社クオインタム	2ヵ年による動画制作PJ、中山博喜先生による「iPhoneによる撮影テクニック」などは撮影済み（編集待ち）クライアントの要望もあり、2021年からの本格稼働	0	無
5	堀川商店街プロジェクト	2020.10～2021.3	堀川商店街	堀川商店街のPRのためのマップ制作PJ 3度に渡るフィールドワークを行った。実際に、カメラを片手に街中を歩き、それを印刷、プロジェクターで投影したマップに貼ってみる。そのことでこれまで見えてこなかった堀川商店街周辺の魅力の掘り起こし、マップ制作を行った。	0	無
6	イオンモールプロジェクト	2020.09～2020.10	株式会社モダンパラダイス	吉本国際映画祭と連動して、吉本芸人を妖怪のイラスト化（百鬼夜行）を行う。 15人程（5人×3モール）で提案。デジタルスタンプラリーを京滋全店で行う。	20	無
7	ミス・パールプロジェクト	2020.04.～2022.03	株式会社カムデン	真珠を被写体・テーマとした実験動画を作成し、クライアントである（株）カムデンのオンラインコンテンツ群に組み入れる。（動画は2本仕上がっている） 将来的には学生企画による「真珠でやってみた」シリーズとして、継続化を試みる。	13	有
8	京焼 目利きプロジェクト	2020.5～2021.03	東山区役所	京焼きは、歴史と技術がある世界に誇る京都の文化であり、消費者のニーズに合わせて価格やクオリティ、製法など多彩なバリエーションを有する。しかし、京焼き以外の陶磁器と比較した時に消費者に具体的に良さが伝えられておらず、特長や違いなどを消費者が知らずに、店側の価格設定でのみ価値を測っている現状がある。 今年度はコロナ禍でイベントの開催を行わなかった代わりに、以下を行った。 ・Vlog（動画によるブログ）の制作と、窯元、販売店4件に取材動画を制作してHPやYoutube上に公開 ・個別に東山区を散策する為のガイドブックとしてのまとめ冊子「やきものでホッ」の制作	14	有
9	ホスピタルアートHAPII+プロジェクト	2020.12.～2021.03	京都大学医学部附属病院	京大病院こども医療センター（北病棟4,5階）の改修に伴い、ホスピタルアートの実現を目指した。前期はオンラインでのミーティングと病院側とのヒアリング等を重ね、後期は、対面のミーティングと病院への中間、最終プレゼンテーションを経て、施工案が決定した。 施工場所の特性から廊下、エントランスは療養空間であり、処置室は医療空間として実現できる手法とデザインは違ってきた。処置室は治療時の患者の気持ちを和らげる効果を求められ、テーマを「あそび」として絵しりとり、ミックあそび、などをデザインし、天井に描くことで患者視点を取り入れた施工とした。4.5階はそれぞれに「えん」「ピース」の2案を各フロアのエントランス、廊下に療養空間である日常の場として施工した。フロアごとのコンセプトに違いを付けながら「いっしょにすずアート」という共有のテーマにより、色彩、構成等に統一感のあるデザインを施し実現した。 施工は100面以上に及び、デザイン案からその実現方法、現場施工での準備、段取り、制作など学生が現場での限定された制作期間やコロナ禍での行動制限などの実現困難に至る中で、つくり方を考え、課題解決を実践的に取り組み、成長できた現場あり、優れた実施内容となった。	50	有
10	南座看板の意匠制作	2020.10～2021.01	松竹株式会社（南座）	南座は歌舞伎発祥とされる四條河原町にある400年の伝統を持つ京都でも由緒ある劇場である。その南座で2019年新春に行われる2つの公演のための一文字看板を描くプロジェクト。耐震補強工事を経た南座が新しくなり、新開場して初めてのお正月の記念すべき新春公演である。プロの看板制作者でもなかなか味わえないような経験となり、お正月のこの地域は八坂神社への初詣のお客様もあり大変な賑わいあり、学生が制作した看板を多くの人にみてもらえる機会にもなった。	44	有
11	VIVAプロジェクト	2020.03～2021.03	株式会社VIVA	ピバスクエア京都のスケートリンクを、キャラ研の『くまのがっこう』のネットワークを用いて、空間演出を行い、多くの方々にスケートリンクを訪れてもらう、プロモーション活動を行うプロジェクト。前半は、キャラ研のくまのジャッキーとデイビットのスケート補助機を制作するとともにスケートリンクの内壁デザインやモミの木の装飾などの空間装飾を行った。後半では、学生たちが多く参加できるイベント、「Link on Rink」を開催。メンバーたちがポスターやチラシを作成し、様々な大学での掲示の依頼を行い、SNSなどを用いての拡散に努めた。その結果、広報活動が功を奏し集客を得ることができた。	53	有
12	粟田大燈呂プロジェクト	2020.10～2021.01	粟田大燈呂実行委員会	京都東山にある粟田神社。天保3年以前に途絶えたといわれる粟田神社の「夜渡り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回で13年目となった。本来ならば、大きな燈呂制作を行う予定であったが、コロナウイルスの影響で巡行ができないため、境内に展示する中燈呂を2基制作することとなった。またオンラインではあるが、神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査、京都の歴史・芸術・文化を掘り下げ、そこから見えてくる日本人の感性を捉えなおし、モノづくりとはどういう事なのかを考察した。また、コロナ禍の今後のお祭りの在り方を考えながら、新しい試みとして、動画コンテンツの作成、youtube配信を行った。京都の、日本の祭りを再発見し、モノづくりにおける「モノがたり」が如何に必要であるかを体験、より一歩進んだグループワークを実施した。	14	有
13	フコクアトリウム空間プロデュースプロジェクト	2020.04～2021.03	富国生命ビル（三菱地所）	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出を行うプロジェクト。今年度は、「UMEDA MEETS HEART 2020」へ出展する立体作品を制作しました。コロナの影響で、例年とは違い5月にオンライン上のミーティングからプロジェクトが始まり、9月になってようやく対面での制作を進めることができました。今回の作品である「星の道しるべ」は、人々のつながり方を考え直す大きな分岐点に立つ今、「星座と同じように梅田に関わるたくさんの人のハートを繋ぎ合わせた」と考え、星形のオブジェのこま座に加え、ハートのオブジェも組み合わせた作品を制作しました。	23	有

芸術教養センター（プロジェクト演習科目）企画

1	学園祭お化け屋敷プロジェクト	-	蒼山会	学園祭の大人気企画である「お化け屋敷」の企画、制作、運営ができるプロジェクト。今年度は、コロナウイルスの影響で建て込みはできず、オンラインでの開催となった。今回は、ノベルゲーム方式を採用し、自らが考えたストーリーやキャラクター設定、場面ごとの作図などをすべてメンバー達で行い、ウェブ上で発表を行いました。チラシ制作やPR動画の撮影や編集などとして、いくつかの動画コンテンツの作成も行い発表した。	28	有
2	瓜生山イルミネーションプロジェクト	-	蒼山会	京都芸術大学の人間館入り口になる人間館の柱や大階段付近を灯りによってアートな空間に演出し、学生や地域の方々、また白川通を行き交う人たちにイルミネーションを楽しんでいただくプロジェクト。2005年から始まり2019年度で15年目を迎えます。チームが丸となって冬の京都芸術大学を色鮮やかに演出。	26	有

<ウルトラファクトリー>

1	「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」京都市京セラ美術館におけるGIG展の作品製作及び展示	2020.10～2020.12	公益財団法人 京都高度技術研究所	アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する文化・芸術事業「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」において昨年度に引き続き、本学は放散虫やフェオタリアなどのブランクトンの研究開発を行う株式会社SeedBankと共同研究を行う仲村康秀（国立科学博物館）とヤノベケンジ、美術工芸学科総合造形コース3年生の大野裕らによる協同作品制作を展開し、京都市京セラ美術館における展覧会で作品を公開した。 ヤノベケンジ作品《黒い太陽》のドームをブランクトンの骨格に見立て、その内部空間では、株式会社SeedBankと仲村康秀が採取したブランクトンの骨格の3Dデータを用い大野が作成した映像がプロジェクションされた。 ■展示「KYOTO STEAM 2020 国際アートコンペティション スタートアップ展」 会期：2020年10月31日-2020年12月6日 会場：京都市京セラ美術館	13	有
2	やなぎみわシアタープロジェクト	2020.05～2021.03	やなぎみわ	美術作家でありながら、演劇の世界に活動の場を広げるやなぎみわによるプロジェクト。今年度は新型コロナウイルスの感染が拡大する中、当初予定されていた舞台公演が中止になるなど、活動内容の縮小を余儀なくされたが、前期は戯曲や舞台演出にまつわるオンライン勉強会を毎週定期実施。後期にはウルトラファクトリーでの舞台装置のパーツ制作や北加賀屋のMEGA ART STORAGE KITAKAGAYAに収蔵されているステージトレーラーのメンテナンスなどに関わった。当ステージトレーラーは、下記の期間で展示が行われ、一般公開された。 ■「Open Call 2020-2021－拡張する収蔵庫－」 会場：MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA 会期：2020年3月6日（土）～3月21日（日） ※上記期間中の土・日曜日、計6日間 ※オンライン公開は期間通して、計16日間	8	有
3	ULTRA SANDWICH PROJECT	2020.05～2021.03	名和晃平	名和晃平が主宰する、クリエイティブ・プラットフォーム「Sandwich」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。アーティスト、建築家、デザイナーなど、国内外からさまざまなクリエイターが集い進行する複数のプロジェクトに関わる。2020年度は、ベルギーの振付師ダミアン・ジャレとの新たなパフォーマンスに向けた舞台演出用の素材リサーチや実験を、前期はオンライン／後期はSandwichで行った。その成果は次年度9月にパリで予定されている公演「Planet」にて発表される予定。同公演はその後、ロームシアター京都でも発表が予定されている。	8	有
4	カラフル・ラボ	2020.05～2021.03	増田セバスチャン	東京・原宿を拠点に「Kawaii」文化を世界に発信するアーティスト、アートディレクターの増田セバスチャンが実施するプロジェクト。 プロジェクト前半は、国を越え世界中に広く存在するKAWAIIプレイヤーに関するリサーチを兼ねたオンライン・セッションを複数回実施。後半には、その内容をもとに研究・分析を重ね、KAWAII文化の過去・現在・未来を紐解く展覧会を企画・実施した。 ■オンライン・セッション「Kawaii Tribe Session」 時期：2020年7月～11月 開催国：カナダ、イスラエル、EU、アメリカ、ボリビア、メキシコ ■展示「DIGITAL TRIBE－未来のコミュニティのあり方－」 会期：2021年3月4日（木）～3月7日（日） 会場：京都芸術デザイン専門学校 Obra	14	無
5	BYEDIT	2020.5-2021.3	多田智美、竹内厚	「編集」の力をつかひながら、モノはつくり、出来事やメディアを作り出すプロジェクト。毎週企画編集会議を行い、独自の切り口からイベントや冊子、ウェブサイトなどを企画、制作する。2020年度は、「オンライン」という制約の中における新たな取材・編集方法を探るべく実験を重ね、コロナ禍における学生たちのリアルな声や生活を取り上げたZINE「オンラインの馬鹿野郎！！」を発行。その他、参加学生によるラジオ配信に加え、ウルトラの年刊誌「THE ULTRA vol.13」の記事の企画・編集・執筆も行った。	14	有
6	kumagusukuプロジェクト	2020.5-2021.3	矢津吉隆	美術家の矢津吉隆が経営し企画運営を行うアートホステルkumagusukuに関するプロジェクト。kumagusukuは、現代美術を中心に様々な展覧会やイベントを企画、人と美術のあらたな関係を築いていく場として話題を集める。 2020年度は、かねてよりイベント出店やワークショップで活動を繰り広げてきた「副産物産店」や町屋改修プロジェクト「BASEMENT KYOTO」、「かめおか霧の芸術祭」への参加など、矢津が運営に関わる複数の案件を横断しながら活動を進めた。 ■副産物産店 山田毅（只本屋）と矢津吉隆が考案した資材循環のための仕組みであり、ものの価値、可能性について考えるプロジェクト。 京都のアーティストのアトリエから出る魅力的な廃材を「副産物」と呼び、回収。普段は見向きもされないそれらに着目し、作品の副産物を使ったプロダクトとして生まれ変わらせる。学生たちが商品企画からパッケージデザインまで携わり、その成果は3月13日（土）-14日（日）にkumagusukuの新スペース「kumagusuku SAS」にて展示された。 ■BASEMENT KYOTO アーティストの制作＆住環境をより面白くするために、使われなくなった町屋を改修し、賃貸物件として貸し出すプロジェクト。次年度に竣工予定の滋賀県の物件の改修作業に学生たちが携わった。 ■かめおか霧の芸術祭 2021年2月11日（木）～28日（日）に開催された本芸術祭の会場のひとつ、亀岡氏文化資料館にて「副産物産店」として展示を行った。	14	有
7	MILESTONES	2020.05～2021.03	細尾真孝	西陣織の老舗「細尾」が所蔵する約2万点の帯図案をデジタルアーカイヴし、世界のラグジュアリーマーケットに向けて伝統素材を用いた新たな展開を企画、実現するプロジェクト。2014年度より「Japan Handmade」として活動してきたプロジェクトは、1万点のデジタルアーカイヴを達成したことを機に2019年に「MILESTONES」と改名。20年度、学生たちは帯図案のアーカイヴの傍ら、江戸から続く京都の老舗・小嶋商店とのコラボレーションワークとして帯図案×提灯の商品企画立案、「MILESTONES」のブランディングや情報発信を目的とした公式インスタグラムの開設準備を行った。	16	有
8	淀川テクニク！プロジェクト	2020.05～2020.11	柴田英昭	様々な場所に出向き現地のゴミを用いた作品を制作したり、ワークショップを行うなど全国的に活動を繰り広げている淀川テクニクの柴田英昭によるプロジェクト。例年、参加学生が淀川でのゴミ拾い（作品の素材集め）を行うところからスタートする本プロジェクトだが、今年度はオンライン・ワークショップの開発や、淀川テクニクのオリジナル・プロダクトとしてZINE、Tシャツ、工具かるた、フッパンの制作をウルトラファクトリーの機材・設備をフルに活用し制作した。	12	有
9	ニッポン画屏風プロジェクト	2020.05～2021.02	山本太郎	日本の古典絵画と現代の風俗が融合した、日本画ならぬ「ニッポン画」を提唱する画家・山本太郎によるプロジェクト。前半はコロナ禍において、YouTube番組を始めた狂言方・茂山千五郎家と山本の番組用コラボレーションTシャツ、および配り物となる「市松マスク」のデザイン・制作を学生たちのオンライングループワークを中心に進めて工房で実作。後半は祇園中心街のビルにニッポン画を施した壁画のデザイン、現地での施工、大型屏風の制作を行い、プロダクト製作からコミッションワークまで、幅広い仕事からさまざまな技法や知識を得る機会となった。	4	有

10	The Projected Image Laboratory	2020.05～2021.03	山城大督	「時間」をテーマに映像メディアを用いた作品を展開するアーティスト・山城大督によるプロジェクトとして、2020年度より始動（通称：P-Lab）。ウルトラファクトリーと連携しながら、オンラインでの教育プログラムをはじめとする様々な映像コンテンツを企画・開発し、配信を行った。これまで以上にオンラインで集い、語り合い、体験を共にするようになった今、参加学生たちは、これから必要不可欠とも言える映像制作や配信のスキルを身につけ実践した。	9	有
11	ヴァーチャル×リアル 彫刻プロジェクト	2020.05～2020.12	ヤノベケンジ	作品制作や発表の現場をとおして美術家・ヤノベケンジの理念、思考、技術、戦略を体得するプロジェクト。20年度は新たな日常における芸術表現のあり方を試行実践することをテーマに、デジタル技術（CGモデリング、VR、AR）を活用した新しい表現形態を学生とともに模索。9月にはギャラリー・オープのヴァーチャル空間を作成し、学生らそれぞれが3Dモデリングしたアマビエの彫刻を展示した「アマビエ彫刻展」を実行したほか、「福島ビエンナーレ2020」では、現地へ行かずともヤノベの彫刻作品を用いたAR作品を制作し出品した。後半には、京セラ美術館での展示、大型彫刻作品の塗装作業や野外設置を経験するなど、学生たちはヴァーチャルとリアルでの表現に向き合った。 ■展示「アマビエ彫刻展」 会期：2020年9月13日（日）～公開中 会場：バーチャル・ギャラリー・オープン（オンライン） ■展示「福島ビエンナーレ2020 風月の芸術祭 in 白河」 会期：：2020年9月26日（土）～11月3日（火・祝日／文化の日）	13	有

<スタートアップ支援室>

1	福井県越前市受託事業 伝統的工芸品産地振興に係る委託業務	2020.04～2021.03	福井県越前市	越前市の主要伝統産業である越前和紙、越前筆筒、越前刃物のうち、越前和紙と越前筆筒に関する新しい企画提案を実施。 ①和紙産地におけるレジデンスの企画提案 新型コロナウイルス感染拡大により、人の移動を伴う提案は困難なことから、映像等の記録、発信によるバーチャルレジデンスの提案を企画・実施した。 ②越前筆筒の新しい試作提案 住宅様式、生活様式の変化に伴い、産業的に厳しくなっている越前筆筒の特徴をリサーチし、そこから新しい越前筆筒の試作提案を行った。越前筆筒の金具を用いたジュエリーの制作及びアクリルの素材を併用することで、越前筆筒の技術が際立つ新たな越前筆筒を試作し、納品した。	8	無
2	熊本県天草市受託事業 「旅するキャンパス」創造事業：天草市モデル	2020.06～2021.03	熊本県天草市	2019年に締結した包括協定を元に受託した「旅するキャンパス創造事業」の2年目。天草の魅力や地域課題を発見し、そこから誘発される新しい企画提案を行った。 ①オンライン講座 2020年度は、天草の魅力を音で伝えるサウンドショートドラマや天草市民が発信者になるための写真講座、デザイン講座等、全22本をYouTubeにて公開。天草市民が学ぶ場をオンラインで提供した。 ②Zoomを用いた双方向講座／小中学校ワークショップ 天草の魅力を発信する方法を考える双方向講座をワークショップ形式でオンライン開催。また「旅するキャンパス」出張講座として、天草市の本渡中学校と御所浦小学校を訪れ、新しいテクノロジーを体験しながら、天草や日本の未来の社会を考えるワークショップを実施した。 ③天草ケーブルネットワークを用いた講座 天草市で全編ロケが行われた映画「のさりの島」の公開を前に、天草ケーブルネットワークに協力いただき、山本起也監督と「映画の楽しみ方」を配信。 ④学生6名によるリサーチ＋提案 2021年2月、天草市民17名にご協力いただき、実際の生活や感情を把握するデザインリサーチ「カルチュラルプローブ」で事前リサーチを行った上で、2021年3月、学生6名が天草市を訪問。地元産業や観光、人のリサーチをフィールドワークを通して実施し、そこから映像作品およびWEBサイトの試作を制作。天草市民、馬場天草市長、市役所関係者の皆様に対して「成果発表会」という形で実施。 ⑤商店街でのワークショップ 子どもたちを対象に、アナログとデジタルの技術を活用したオリジナルエコバッグ制作のワークショップを実施。約100名の方にご参加いただいた。 ⑥AMAKUSA CITY GUIDE BOOKの制作 天草市の魅力を引き出す新しいガイドブックの制作提案を行い、300部天草市に納品。	10	無

<社会実装支援課>

1	学生宿舍オープンスペース壁画+WS開催	2019.09～2020.10	東急不動産株式会社 najic学生情報センター	東急不動産株式会社が管理し、najic学生情報センターが運営を委託している学生寮「キャンパスヴィレッジ乗寺」において、1) カフェスペースでの壁画デザイン、2) 入居学生同士の交流促進を目的としたワークショップ企画/開催。この2つを実施するプロジェクト。 2019年度～2020年度で実施。壁画デザインは2020年1月に納品し、ワークショップは2020年4、5、10月の全部で3回（オンライン2回、対面1回）を実施した。	4	無
2	俺のベーカリー食パンパッケージデザイン	2020.05～2020.08	俺の株式会社	俺の株式会社が展開する「俺のBakery 心斎橋店」において、自社オリジナルブランドの食パンのパッケージデザイン提案を行ったプロジェクト。 参加学生はプロジェクトデザイン学科から2名、情報デザイン学科から2名の計4名の学科横断プロジェクトで実施した。新型コロナウイルスの影響でオンラインで進化した。	4	無
3	クリスマスカード制作	2020.11～（継続中）	一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 日本バプテスト病院	日本バプテスト病院とは毎年本学と連携事業を行っており、今年は日本バプテスト病院が2020年12月に関係各所へ配布する「クリスマスカード制作」を受託。こども芸術学科 非常勤の由井武人先生を指導教員とし、選抜学生1名がデザイン原案、印刷データ制作にもう1名の計2名の学生が参加した。デザインプレゼンを行った後は印刷の手配を行い、2,000部を納品した。	2	無
4	100キロ積載自転車の共同開発	2020.10～2021.05	株式会社きたむら	株式会社きたむらが2021年秋開催予定のサイクルモード展へ出展する、「100kg積載可能自転車」のデザイン及び3Dデータ制作を行うプロジェクト。学生のデザインスケッチを提案しプレゼンを重ねた後、決定デザインの3Dデータを制作する。2020～2021年度間で実施する。	5	無
5	配膳ロボットの配膳台3Dデザイン及びインタラクティブアイデアのプランニング	2020.10～2021.02	株式会社T-ROBO	株式会社T-ROBOが京都市の補助金で開発を行う、自動配膳ロボットの外装デザイン及びモックアップ制作を行う案件。依頼内容のうちデザインをふしぎデザイン株式会社（秋山先生）へ再委託しその中で学生4名が担当教員の指導の元、UX/UIをリサーチのふしぎデザインと連携しながら実用的なデザインを完成させる。その後、モックアップ制作及び、ロボットの案内タブレットデータ制作を取り組んだ。	4	無
6	井澤ビル リノベーションに伴う壁画デザイン	2020.12～2021.01	株式会社井澤ビルディング 株式会社フクケン PLANET Creations関谷昌人建築設計アトリエ	株式会社井澤ビルディングのリノベーションに伴い、1Fの店舗一口の壁面をデザイン及びカットシートでの施工業務を行う案件。締結先は井澤ビルであるが、デザイン監修として関谷設計事務所を依頼窓口とし、現場施工などはリノベーションの施工担当である株式会社フクケンと調整を行った。ウルトラプロジェクト「ニッポン画屏風プロジェクト」のチームで取り組み、学内やリモートでデザイン制作や準備を行った後、2021年1月23日に現場施工を行った。	4	無
7	NAQUYOプロジェクト MUTEK.JPと連携して平安京のサウンドスケープを再現する	2020.10～2021.03	株式会社電通	アート×サイエンス・テクノロジーをテーマにした祭典「KYOTO STEAM - 世界文化交流祭 - 」と、デジタル・クリエイティブの開発、文化芸術活動の普及を目的とした団体「MUTEK.jp」のコラボレーションプロジェクト「NAQUYO」のコンテンツの一部を株式会社電通からの依頼で行う案件。平安京のサウンドスケープにおいて歴史遺産学科が平安京の生活音などを研究しその内容をサウンドスケープデザインの素材として研究発表を行い、12/19に行われたオンライントークイベントにて成果発表として披露し、その後2/4にKYOTOSTEAM実行委員会のメンバーと振り返り会を行った。	9	無
8	合成ダイヤモンドのPR企画提案	2021.02～2021.03	株式会社今与	株式会社今与が販売する商品「ラボログウンダイヤモンド（合成ダイヤモンド）」のPR企画を学生が考えるプロジェクト。合成ダイヤモンドの認知拡大/販促につながるアイデアをねん出するため、企業訪問を行い、工場見学などのリサーチを重ねた。学生は、情報デザイン学科4名とキャラクターデザイン学科1名の学科横断型の参加となった。最終的には、3/30に社長も含めた今与の皆さんの前でプレゼンを行った。	5	無
9	暮らしの中の空白プロジェクト	2020.08～2021.03	京都府仏具協同組合	時代の移り変わりと共に、自宅に仏壇を構える環境が少なくなっている現代において、京仏具の伝統技法を用いながらも、現代の生活やインテリアに馴染む新しいプロダクト提案を実施。「暮らしの中の空白」というコンセプトで、「自分自身の時間の使い方」に問いを投げかけながら、京仏具の持つ特性を活かした「暮らしの中に空白をもたらす」プロダクトデザインを探究した。2021年3月25日～30日(29日休館)の5日間、みやこめっせ 京都市勧業館 MOCADギャラリーにて成果展を開催。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/696">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/696</a>	4	無
10	Fantastic Market in えいでん八瀬比叡山口駅	2019.07～2020.03	有限会社デコラティブモードナンバーズリー（graf）	2020年春に叡山電鉄 八瀬比叡山口駅にて開催されるイベント「Fantastic Market in えいでん八瀬比叡山口駅」にて、オリジナルグッズを制作、販売する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止。その後、デザインは完成していたため、お披露目の場を検討し、grafが運営するECサイトにて特設ページを設け、受注生産という形でオンライン販売を実施。	3	無
11	I×R オンライン配信LIVE 舞台造作制作	2020.08	株式会社STARTNET 株式会社ワールドふれんど	AKBグループのオンラインユニットI×Rのオンライン配信LIVEにおける舞台セットのデザインと制作を舞台芸術学科にて担当。8/30に実施されたLIVEにて使用され、特別協力として学校法人瓜生山学園 産学公連携本部 /学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 芸術学部 舞台芸術学科がI×Rの公式HPにて特別協力として掲載。	4	無
12	一志家具製作所 新しい家具の提案	2020.11～2021.03	一志家具製作所	「こどもとおとなが使う家具」というテーマで、①"こども"という視点を入れた家具 ②一般家庭用家具という2つの観点を見たとす、新しい商品となる家具デザインを提案した。制作したプロトタイプはこども芸術大学と連携、検証の場を設けた。	5	無
13	三菱地所オフィスアートプロジェクト	2020.01～2021.03	三菱地所株式会社	三菱地所本社ビルに、本学ギャラリーであるアルトテック取り扱い作家18組の作品を設置。作品は全て三菱地所による買い取りとなり、三菱地所 本社ビルを訪問する多くの企業関係者の目に留まる環境となった。学外の多くの方に本学作品を観ていただけるきっかけとなり、この取り組みを通して作家に声がかかりやすく、次の展開に進む好機に恵まれるチャンスが生まれる空間へと仕上げた。	0	無
14	ジェイアール京都伊勢丹 TEBACOフライヤーコンペ（2月・4月）	2020.11～2021.03	ジェイアール西日本伊勢丹	季節毎に期間限定ショップとしてオープンする「TEBACO」2月・4月実施分のフライヤーのデザイン提案コンペを実施。2月は「ハル」、4月は「柳緑花紅」をテーマとし、お客さまがひと手間加えて完成する一工夫を加えたデザインを提案した。	2	無
15	矢野豊商店×無印良品 ワークショップ	2020.12	矢野豊商店	株式会社矢野豊商店と共に、量の新商品開発に向けたアイデア提案のための1dayワークショップを実施。そのアイデアを元に新商品開発へ繋がる可能性もあり。無印良品のデザイナーを特別講師にお迎えし、学生向けに事前レクチャーを実施。無印良品のデザイン製品開発の考え方を活かしたワークショップとした。	6	無
16	長浜盆梅展2020	2020.04～2021.03	長浜観光協会	今年度で3年目を迎える取り組み。今年は第70回目という節目の年ということもあり、滋賀県米原市を拠点に活躍されている切り絵作家の早川鉄兵さんとのコラボレーション企画を実施。切り絵の繊細な表情と雄大で甘美な盆梅とのコントラストが際立つ、フォトジェニックな空間に仕上げた。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/666">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/666</a>	11	無
17	京都信用金庫カレンダープロジェクト	2020.02～2020.09	京都信用金庫	5年毎に地元の芸術系大学を巡行しているもので、本学は2016年度と2021年度カレンダーを担当。カレンダー12カ月分+表紙の挿絵となる学生絵画作品を制作。「未来に残したい光景」とテーマとし、京都（滋賀、大阪を含む）を中心とした地元根づく光景を原画に落とし込み、カレンダーを彩った。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/576">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/576</a>	13	無
18	藝泊 泊まれるアートを創ろう	2020.04～2020.12	株式会社ラナエキストラクティブ	前期は「藝泊 泊まれるアートを創ろう」をテーマに、ZOOMでのオンラインワークショップを2日間に渡って開催。後期はその流れを汲みつつ、プロジェクトとして本格稼働し、「藝泊 泊まれるアートを創ろう」をテーマに、HOTEL SHE,KYOTOの一室を舞台としたサービスを企画・提案、実際にホテルの一室で実装することを目標としていたが、現段階では企画の提案までで終了。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/593">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/593</a>	18	無
19	美術工芸学科選抜展 クロスフロンティア vol.1	2020.06～2020.11	株式会社ワコール	株式会社ワコールが運営するワコールスタディホール京都にて実施した展覧会。美術工芸学科と大学院美術領域の学生から約90名の公募がある中、美術工芸学科 学科長 竹内万里子先生、椿昇先生らの審査員が厳正な審査を行い、10名の在学生在が選出された。第1回目のテーマは「Foundation」。建築においては「基礎」、化粧においては「下地」、服飾においては「下着」、組織においては「財団」など、物事の基礎・根幹をなすという意味があるが、今回は、表現の基礎、作家の土台となることを意図してのテーマ設定となった。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/623">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/623</a>	15	無

20	山本寛斎 日本元気プロジェクト	2020.05～2020.08	山本寛斎事務所 (オートクチュール京都)	世界的デザイナーである山本寛斎氏企画のイベント「日本元気プロジェクト スーパーエネルギー！」において、学生作品を映像作品にするための作品提供。空間演出デザイン学科ファッションデザインコースの学生たちに声かけを行い、作品写真を提供、オンラインにて開催されたイベントにてお披露目された。 ●YouTube (イベントの様子) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=DZ-sFuIau04">https://www.youtube.com/watch?v=DZ-sFuIau04</a> ●公式HP <a href="https://www.kansai-inc.co.jp/ngp2020/">https://www.kansai-inc.co.jp/ngp2020/</a>	18	無
21	大丸京都店×マザーハウス×金札宮 開運財布 商品開発	2020.08～2021.01	大丸京都店 株式会社マザーハウス	『途上国から世界に通用するブランドをつくる』を掲げ、「途上国」の可能性を「モノづくり」を通じて世界中のお客様に届けている株式会社マザーハウスと、開運財布の新規開発におけるデザインを提案、「Irodori L Style Long Wallet <Kyoto>」を開発。京都市伏見区にある神社 金札宮ともコラボレーションし、金運に恵まれる要素を盛り込んだ商品企画を行った。販売場所は大丸京都店1階に特設会場を設け、販売。なお、販促ツール（ポスター、商品付属の帯）も提案し、学生の案が採用された。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/669">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/669</a>	2	無
22	丸石製薬 アルコール消毒の一般化にむけた提案	2020.06～2021.03	丸石製薬株式会社	コロナ禍におけるアルコール消毒の一般化に向けて、既存であるものよりも効果的であり、かつ、今まで以上に消毒を誘発するような ①啓発ポスター提案 ②サイン計画 ③スプレーボトルの開発 を担当。主に病院での使用を見据え、商品化を前提とした提案を実施。 ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/633">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/633</a>	4	無
23	ホテル プリエ京都南:テキスタイルパネル制作	2020.09-11	株式会社セブズ	「手ぬぐい」をホテル内のロビーや廊下、客室を彩るアートパネルとして制作。3年次授業で、SOU・SOUプロジェクトとして「マイファイバリティ京都」「24節気72候」などのテーマで制作した手ぬぐいデザインをベースに、今回のコンセプト「京都の"いき"を感じる」デザインにリ・デザインした。クライアントへの中間報告会を経て、デザインを確定し、プリント外注に出すためのデータを作成した。最終的には30X30cmのパネル50枚を納品することができた。制作者は展示されたホテル施設内も見学し、出来栄を確認することができた。作品が社会のなかで機能することを実感できた取り組みであった。	32	無
24	芸術文化学術フォーラム2020 in 京都	2020.11	共催 国際連合協会／世界連邦日本国会委員会	国際連合の創設75周年にあわせて世界連邦日本国会委員会、国際連合協会、本学の共催によって春秋座にて、国際連合創設75周年記念事業「芸術文化学術フォーラム2020 in 京都」を実施。田中朋清SDGs推進室長、長谷川祐弘特別教授、谷本客員教授を中心に国連事務次長であり国連大学学長のデイビッド・マローン氏など元国連大使を招聘。SDGs目標達成と国際連合創設100周年に向けて、国際連合と本学が協働して芸術や文化の活用による国際協調を進めていくことが宣言され、協定が結ばれた（芸術文化学術・京都宣言および調印式） ●プレスリリース <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/644">https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/644</a>	14	無
25	ウェスティン都ホテル 130周年記念ロゴマーク制作	2020.03～2020.06	ウェスティン都ホテル	ウェスティン都ホテルが130周年を迎えるということで、記念事業で使用されるロゴマークの制作依頼が本学にきた。以下、依頼文から抜粋「京都で永年愛され続けてきたラグジュアリーホテルとして更なる飛躍を 目指し、グランドリニューアルする当ホテルが、これからも皆様に愛され続けていただけるようなデザインを考えて下さい。」デザインコンセプトは「Queen of Elegance」で、学科内コンペの形式で募集を募った。	5	無
26	えがおプロジェクト	2020.09	応援村	応援村から「こどもが笑顔の大切さや面白さを感じることができるワークショップ」と依頼があり、こども芸術大学の学生2名とワークショップを企画し、認可保育園こども芸術大学で実施した。当日の様子はライブ配信され、後日、ワークショップレシビとして、幼稚園や保育所などで活用していただけるよう活動が展開された。	2	無
27	長栄ワンルームマンションのリフォーム案の提案 (Stamp!)	2020.05～2021.04	株式会社長栄	株式会社長栄が管理するマンションを学生のアイデアでリフォームするプロジェクト。学生は長栄のスタッフや施工業者の前でプレゼンテーションを行い、最優秀賞・優秀賞・特別賞が決定される。受賞作品は実際に施工され、市場で居住者を募集する。	15	無
28	アマナHD MoPP写真美術館 学芸員実習+インターン カリキュラム	2020.03	株式会社アマナ	株式会社アマナが文化庁の補助金事業（5ヵ年）を活用して長野県御代田町に美術館を2022年開館予定であり、その施設を活用した学芸員実習プログラムの開発ならびに毎年アマナが主催している国際フォトフェスティバルを活用したインターンシッププログラムや連携事業の開発。2020年度は現地の視察と学芸員プログラムのドラフトを作成。	0	無